

「新たな教育のスタイル」の確立に向けた
 「次世代の学びの基盤プロジェクト」 中間の取りまとめについて(概要)

背景

これからの世界は、
 一層予測が困難
 AIやロボット、IoT
 などの進化が浸透

ポイント

- ✓ 予測できない状況に柔軟に対応できる
 世界で生き抜く人材の育成が必要
- ✓ 日々進化する生成AIなどのデジタルを
 リアルの学びに組み合わせる取組が不可欠

「AI」や「グローバル・リーダー」の力を結集して
 世界で生き抜く「**自立した学習者**」を育成

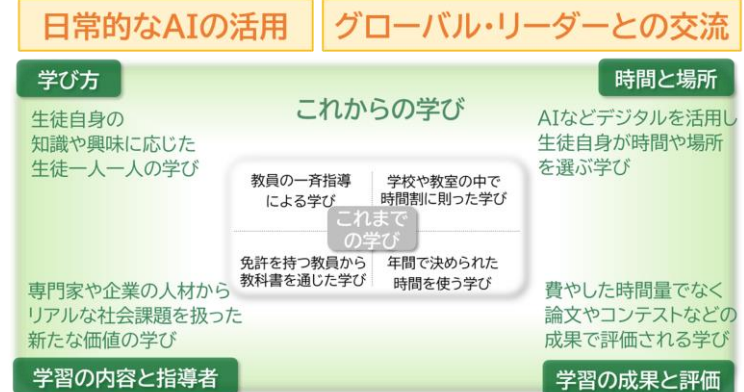
- ✓ 学びのプロセスを自ら選択し決定する**自己デザイン力**
- ✓ 興味関心に応じて、**創造的・協動的**に学ぶ力

「次世代の学びの基盤プロジェクト」を展開

「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集

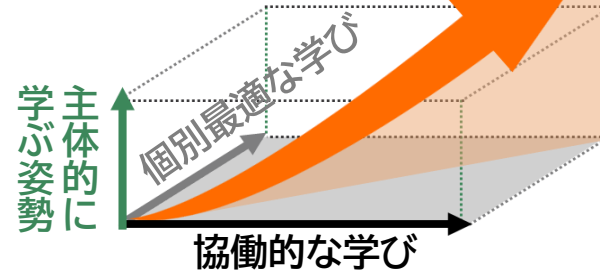
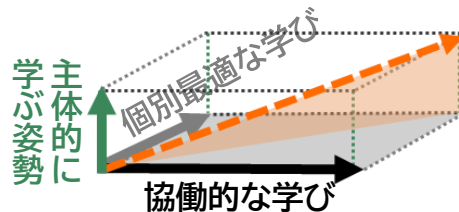
- ① DXによる学びの改革 デジタルとリアルの
 最適な組み合わせ
- ② 教員と組織の改革 教員の役割や組織の
 あり方の改善
- ③ 制度の改革 学習内容や方法、単位の
 認定等の柔軟な運用

3つの改革を実施して、目指す学校の姿



最先端の知識を主体的に学び、AIを駆使して新しい価値を創造し、世界で生き抜く「**自立した学習者**」を育成

3つの改革(①DX、②教員と組織、③制度)で「**自立した学習者**」を育成

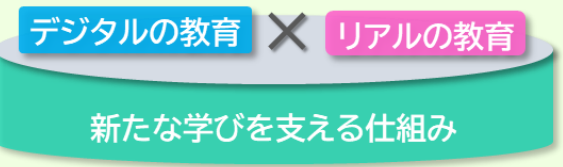


「**自立した学習者**」
 の育成

① DXによる学びの改革

- ✓ AI等で、きめ細かく高レベルな知識を提供
- ✓ デジタルツールで学ぶ時間や場所の選択を実現

「AI」×「グローバル・リーダー」



- ✓ 興味関心に応じた校外のリアルな場で探究
 - ✓ 実体験による教科横断的な知識の活用
- リアルな教育の効果を、より一層高めるため
デジタルツールで情報共有する工夫

デジタルの教育とリアルな教育の学習状況を
AIを活用し、デジタルテストや学習管理システム(LMS)等で把握し、教育効果を高める仕組みの展開

② 教員と組織の改革

- 「自立した学習者」を育成する
「学び続けて、成長し続ける教員」
- ✓ 教育課程をAIやグローバル・リーダーの活用など新しい視点でデザインする力
 - ✓ 生徒一人一人に伴走し、授業を計画しより効果的に実施する力

「教員のスキルアップ・プロジェクト」

大学や研究機関からの指導者等の導入 海外のグローバルで最先端の知見の活用

「学び続けて、成長し続ける教員」が密接に連携した教育

マネジメンタルな組織的な取り組み

本務指導などの役割を超えた連携
教科・科目を超えた連携

研究 ↔ 実践

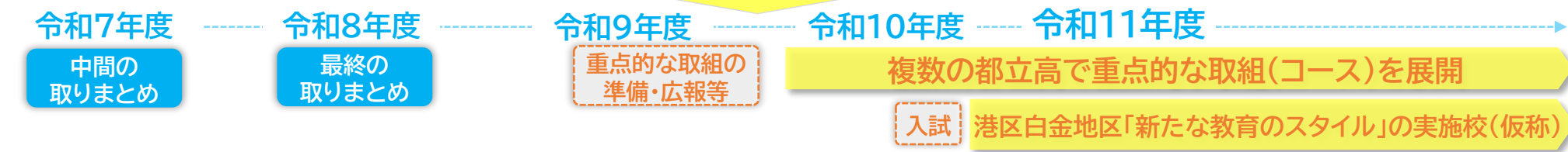
- AIを活用した授業デザイン
- 資質・能力の研究
- 新たな研修の開発
- AIやLMS等の取組の相乗効果を研究
- コーチング・ファシリテーション研修
- デジタルとリアルを融合した新しい授業の研修実施
- グローバル・リーダーと連携した授業の実践

③ 制度の改革

国に働きかけ、目指す学校の姿を実現 検討のポイント(例)

AI等のデジタルの仕組みの教育への反映方法、学校に通うスタイル
科目修了の単位認定の仕組み、生徒の学びの成果の評価方法
外部の専門人材活用のための免許制度 等

今後の、プロジェクトを展開する都立高校の考え方



① DX モデル校で取組 各学校が、特色に応じて展開

② 教員と組織 教員のスキルアップ・プロジェクト

③ 制度 国への働きかけ